

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュいわの		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2026年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間の雰囲気の良いが子供たちにも良い影響を与えています。	スタッフ間でのコミュニケーションを大事にしています。意見の違いも言い合って話し合っています。	日々のミーティングをさらに充実させていきます。
2	スタッフが仲間意識を持って子供と活動しているため信頼関係を築きやすく活気があります。	支援者であるとともに仲間という意識で関わっています。	喧嘩等が発生したときに「やめさせる」のではなく、様子を見ながら自分たちで解決できるよう見守りと援助を行っています。
3	多機能型の施設であるため、同年代だけでなく年上の他児からの刺激を受けて成長する機会が多いです。	年上の他児に見本を見せてもらって褒めることで意識付けし、あこがれや目標になるよう促しています。	年上の他児と一緒に活動することで経験の幅を広げていけるよう子供同士で活動できる機会を増やしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流の機会が少ないことです。	日々の業務に追われて（子供の支援やイベントに重点を置いて）保護者のイベント企画が後回しになっているためです。	年間スケジュールに沿ってしっかりと計画を立てていくことが必要だと思います。
2	地域住民や学童などとの交流があまりできていないことです。	地域のつながりがなく、学童などもあまり接点がないため。	つながりや接点を作っていかなければいけません、どのようにしていくべきか思案中です。
3	非常時の食料や簡易トイレ等の備蓄品が十分でないことです。	具体的な備蓄品の精査が足りないことと備蓄する場所が十分でないことです。	具体的な備蓄品の精査と管理が必要だと思っています。